



くまき よしき

市政レポート

第7号

先日は線状降水帯による大雨により、高岡市各地で浸水の被害がありました。
被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。

市議会からも委員会や各議員を通して、市民の皆様へ寄り添った対応になるようお願いしているところです。
罹災証明の発行や被害の詳細確認など、対応に時間がかかっているものもありますが、
高岡市役所当局も全力で対応いたしておりますので、ご理解賜れば幸いです。

高岡市議会議員

熊木義城

くまき

よしき

28歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒
株式会社パナソニックグループ、
京都市議会議員秘書を経て
高岡市議会議員選挙に当選。
現在1期目。会派「高岡愛」所属。

6月【6月議会質問特集】プラごみの「ピンクのごみ袋」どう変わる？

令和5年6月定例会が開催されました。今回は身近なごみ捨てに関わる環境政策について何点が質問。その中心は、ピンクのゴミ袋への対応についてです。ピンクの袋は現在使用期間が終了しており、市役所などで回収していますが、「そもそもなぜ変わるのか」、「透明または半透明の45ℓの袋の定義がわかりにくい」というお話や、ごみ回収における現場にてお聞きした話ですが、「ときどき、中身が見えにくい袋が使われており、分別が十分かどうかわからない。まじめな方は、袋をひっくり返して確認しており、回収当番の負担になっている」というご意見をお聞きいたしました。やはり、任意の袋とするより、改めて本市指定の袋があったほうが、市民の皆様にとっては、わかりやすいのではないかと考え、今後どう対応していくのか？という想いで質問しました。



どう変わる？

法律の改正とプラスチックごみのリサイクル技術の向上によって、これまで分けられていたプラマークのついているプラゴミと、高分子系ゴミをまとめて捨てるできるようになります（下の図を参照）。いわゆる、「プラごみ一括回収」です。今までは、高分子ゴミは細かく砕いて燃料として活用されてきましたが、一括回収実現後は、プラ製品の原料としてリサイクルされるようになります。これにより、高岡市のリサイクル率の向上、CO2排出削減を目的としています。



Q 本市指定のプラスチックごみの
ゴミ袋の作成を検討してはと
考えますが、見解は。

なくなる理由は？

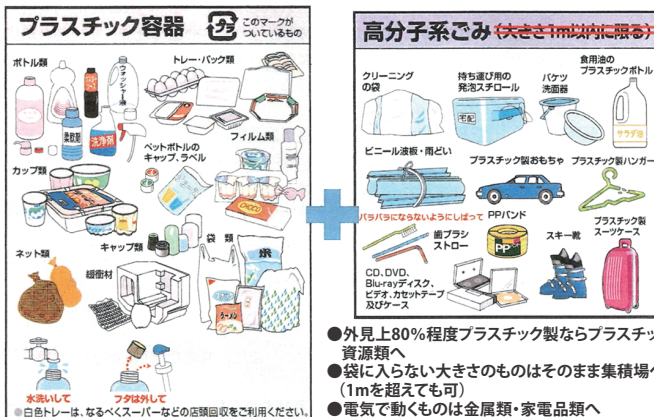
ひとつは、来年10月のプラごみ一括回収の実現に向けた取り組みです。一括回収実施までに、時間をかけてすべて回収することで、ごみ捨て時の混乱をなくすこと。**もうひとつは、市民の手間や財源負担を解消する狙いもあります。これまでは自治会を通して配られ、配布のために予算も年間で約1100万円かかっていました。**そのうえ、大量に持ち帰って衣類の保存に使うなどの目的外利用も話も聞かれたうえ、配布が負担、また無料で配布せずとも良いのではないかと声もあり、この一括回収への移行を機に、袋のあり方を見直そうという動きになりました。なお、回収された袋は、ボランティア清掃用の袋として再利用されます。

A 袋のあり方については、①市で作成して販売・配布する方式、②民間事業者の袋で基準を満たすものをつくる方式、③ご家庭の袋を再利用できる任意の方式の3つのパターンがある。モデル地区での実証実験を予定しており、収集に適した袋の仕様などの検証を行う。この結果を分析し、プラスチック資源ごみの袋の適切なあり方を検討していく。



今回まとめて回収するプラスチック資源類

(プラスチックとプラ製品を同じ袋に入れて出してください)



- 外見上80%程度プラスチック製ならプラスチック資源類へ
- 袋に入らない大きさのものはそのまま集積場へ(1mを超えても可)
- 電気で動くものは金属類・家電品類へ
- 容器類は中身を使い切り、固形物が残らない程度に軽く洗って乾かして

プラスチック資源ごみ一括回収の実証実験に成美地区・二塚地区が選ばれました

プラスチックごみ一括回収は令和6年10月からを予定しています。それに先立ち、**今年の9月・10月の二か月間だけ、左の図のように、「プラゴミと高分子系ごみを一緒に捨ててOK」の、プラスチック資源ごみとして捨てられます。(その後はまたプラゴミと高分子系ごみを分ける方式に戻ります。)**

大変ややこしく感じられる皆様、ごもっともです・・(汗)
ですが、実験のなかでの皆様の声をもとに、来年に予定している市内の正式実行につながります！ご協力とともに、率直な意見をいただけるようお願いできましたら幸いです。

くまきよしきの質問の様子がYouTubeで見られます⇒

QRコードを読み取るか、YouTubeにて「高岡市議会 熊木」で検索！



視察レポート 岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」

7月上旬に、岩手県紫波町にある「オガール」を視察にいきました！ 以前から全国から注目されており、出町市議の著書、「現場発ニッポン再興」でも紹介されています。議員として活動する前から、どうしても直接行って話を聞きたいと思っていたので、念願の訪問でした。

オガールプロジェクトとは？

岩手県盛岡市に隣接する人口約3万3000人の小さな自治体、紫波町。「オガール」とは、「成長する」という意味の「おがる」という方言と、フランス語で駅を意味する「Gare（ガール）」を掛け合わせた造語で、オガールプロジェクトでは、ターミナル駅である紫波中央駅前の広大な空き地を、町役場、図書館、スーパーの役割も果たす地元産直マルシェ、飲食店、宿泊施設、フットボールセンターやバレーボール専用体育館など、公から民間まで様々な施設が存在する複合施設へと整備されました。しかも、民間部分については国の補助金に依存せず、地元金融機関から資金調達しており、公共と民間が力と知恵を出し合ってエリアを整備する公民連携の先進事例として全国的に注目されています。

何がすごいのか？

人の流れを意識した計画づくり

私がすごいと感じたことのひとつは、ひとの流れを徹底的に意識してまちづくりがされている点です。

サッカー場やバレーボール専用体育館、図書館、町役場にきた人たちが、そのまま買い物したり、飲食できるようになっており、また保育園や小児科クリニックなど、若い世代のニーズに応えた施設も充実しています。エリアの中央は芝生のイベントスペースになっており、週末はイベントでにぎわい、申請すれば家族でBBQもできるなど、来た人が楽しめるような場所になっています。つまり、「このエリアに人を集めて、賑わいをつくる。賑わいが増えれば各テナントの収益もあがり、施設の収益も安定する。その収益から、事業費と維持管理費を捻出する」という持続可能なサイクルが完成しています。当初の目標は年間30万人（紫波町の人口の3倍）を集めることだったそうですが、結果的に予想をはるかに超える約100万人が訪れる成果がでています。

収益性にこだわったいわゆる「稼ぐ公共施設」

これまでの行政による再開発では、税金を使って大型の施設整備・開発を行うことが地域活性化に寄与するという考え方でした。しかし、経済が成長期ならいざ知らず、少子高齢化の現在ではうまくいきません。公共施設は、大まかに整備費の10%が、毎年維持管理費にかかると言われており、整備後、維持管理費が自治体の財政を圧迫する例があとを絶ちません。オガールプロジェクトでは、経営的な目線を入れて、財政的に自立している施設であることも特徴的です。民間から資金調達を行うことで、銀行等から厳しいチェックを受け、どのような施設やテナントがあれば集客できるか、テナント選びからこだわり、緻密な計画が練られました。そこから逆算して、採算がとれるように建築し、収益から維持管理費を捻出し、実質の行政負担をゼロにしています。さらに、土地の利用料は町に入るほか、エリアの人も高まり、待機児童が発生してしまうほど若い世代の移住が増えています。まさに持続可能な好循環を生んでいます。



バレーボール専用体育館。オリンピック選手の練習場としても使われている。



訪問日は土曜。イベントスペースには町の人たちが集まり、賑わっていた。



図書館にも工夫がたくさん。子どもにも探求学習を勧めるイベントなども開催。

行ってみた感想はというと・・・大事なことは「100年経っても魅力あるまちをつくれるか」

今回は縁あってオガールプロジェクトの民間側の責任者、岡崎正信氏にも詳しくお話する機会がありました。岡崎氏は、「優れたまちとは、いまの人がいなくなっても、次の人がまた住みたい、または投資したくなるようなまちだ」と仰いました。例えば、これまでのよくある開発例ですが、宅地開発され、一時的にその地域に人が増えたとする。しかし、次の世代が移り住みたいという魅力や仕組みがなければ、いずれは空き家が増え、市域が広がれば行政コストが上がるだけ。そうではなくて、多くの人がそのまちに魅力を感じ、移住したり、出店したり、投資したり・・・というサイクルが出来上がれば、1つの世代で終わることなく、100年後も残るまちづくりになっていくということです。「世代を超えて生き続けるまちをつくる」というオガールや岡崎氏の理念に私は衝撃を受けました。また、これからのまちづくりは、この持続可能性を何より意識して行わなければならないとも感じました。これから、誰よりも長く高岡で暮らしていく若者のひとりとして、高岡の未来を見据えてどう今の現状を変えていくか、また、どう人口減少という大きな課題に対応していくべきか、非常に大切なヒントをいただいた視察になりました。引き続き、今回学んだことをどう高岡に落とし込んでいくのか、さらに情報を集めながら、模索して参ります。

会派「高岡愛」で市政報告会を開催します！

日時

8月27日(日) 14時00分～

ぜひお気軽にお越しください！

会場

ウイングウイング高岡5階 申込不要・参加無料



日々の活動はSNSから！

市政に対するご意見やご相談など、SNSやメールにて承っております。



今回のチラシに関するご意見・感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

✉ y.kumaki26@gmail.com

🌐 <http://kumakiyoshiki.com/>

自由民主党「高岡愛」所属 熊木義城

熊木義城 瓦版第8号編集・発行人：熊木義城

933-8601 高岡市広小路7-50 高岡市議会 令和5年8月1日発行

討議資料

